

## 私に日常をくれたあなたへ

鈴木さくら

神奈川県・二一・学生

元気でいますか。お仕事頑張っていますか。あなたの幸せを、今も願ってやみません。あなたに会えて、私は人生変わったと思っていました。高校を辞めて、毎日何もできずにいた私が、あなたに「好き」と言われただけでなんでも頑張れました。バイトも大受験も、楽しいと感じていました。

けれど私はあなたに対する努力を忘れてしまったのでしょうか。いつも笑顔で明るくいれば、戻ってきてくれると信じていました。移りゆく心を、どう引き留めたらいいのかわかりませんでした。わかっているのは私のあなたに対する想い程、あなたからは想像しなかったということ。それを認める勇気を持たなければいけないということ。移りゆく心にずっと気付かないふりをしていたら、私達の関係は今も続いていたのでしょうか。苦しくてくやしくて悲しくてたまらないけれど、やっぱり恨んだりする気になれません。裏切られたことより、感謝したいことの方がずっと大きいから。今の私の日常は、あなたがくれたことのように思うから。大学も、バイトも、夢も、友達も、あなたに出

佳作

会わなければ私は持てなかつたと本気で思うから。

けれどこの悲しみを乗り越えて、私はあなたを忘れようと思いません。今までずっと私の心を支えてくれてありがとう。本当に大好きでした。あなたには絶対に幸せになつてほしい。心からそう思います。ありがとう。これからは、ひとりでも頑張ってみます。さようなら。

\*高校を中退し、親とも友達ともうまくいかず、毎日何もできずに過ごしていた私は彼と出会い、自分に自信を持てるようになりました。通信教育で高校も卒業し、大学に進学し、人ともうまく接することができるようになりました。しかし、彼には二股をかけられてしまい、我慢できなくなり、別れてしまいました。その彼に渡すことができるなら、この手紙を渡したいです。